

# 子ども読書支援センターニュース 第44号

山梨県子ども読書支援センター 2022.9.30



本誌は、県民の皆様には山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

## 中学生・高校生向け展示コーナー：「ティーンズコーナー」に注目！

ティーンズコーナーは、中学生・高校生を対象とした資料展示コーナーです。1階の児童カウンター前にあり、年4回、テーマを変えて展示を行っています。

テーマは、中高生にとって身近な学校生活や進路に関すること、社会的に話題となっている出来事などから選んでいます。また、展示する資料は、児童資料コーナーにあるものだけでなく、一般（大人）向けの資料からも、写真やイラストを多く用いたものなど読みやすく分かりやすい資料を集めています。



◆ティーンズコーナー◆

現在は芸術の秋にちなみ、「心に響く音楽」をテーマに展示しています。吹奏楽部や合唱部の生徒に演奏や歌唱の上達のコツを伝える本や、一から音楽を始めようとする人のための初心者用教本などを紹介しています。

展示の様子は、ホームページの「ティーンズページ」からご覧いただけます。過去の展示のブックリストも掲載しています。何の本を読もうかな、と迷った時は、ぜひ見てください。

### ■ ティーンズページ

URL : <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/teens/index.html>

## 読み聞かせの参考になる本をお探しの方は、 「子ども読書研究コーナー」をご活用ください。



◆子ども読書研究コーナー◆

児童資料コーナーの一角に、子ども読書研究コーナーがあります。読み聞かせやブックトークなど、子どもに本を届ける活動をしている人々に向けて、活動の参考となるような資料を集めています。

コーナーには、絵本や児童文学作家・画家の伝記や作品論、画集、子どもの読書の大切さについて伝える本、読み聞かせやブックトーク、わらべうたなどの技法を伝える本などがあります。

テーマ別、対象年齢別に絵本や児童書を紹介している資料もあり、お子さんやお孫さんのために絵本を探している方や、保育園、幼稚園、学校の先生にもおすすめです。ぜひご活用ください。

## 第2回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました。



◆安富ゆかり氏◆

7月14日、JPIC読書アドバイザーの安富ゆかり氏を迎えて、「読み聞かせ・おはなし会を振り返る」と題し、ワークショップ形式の講座を実施しました。子どもと関わる仕事に就いている方など、43名の参加がありました。

前半は、コロナ禍によって活動の停止を余儀なくされた、読み聞かせ・おはなし会の意義や活動に参加する理由を改めて考えることから始まりました。次に、自分の活動場所について、どんな読書経験を持つ人に読み聞かせをするのか、ということなどを考え、整理・把握することの大切さや、絵本の選び方と読み方のポイントを学びました。

後半は、4人一組となって互いに読み聞かせを行い、読む立場と聞く立場を体験し、本の持ち方や声の出し方を確認しました。

## 令和4年度 高校生インターンシップを行いました。

7月27日（水）～29日（金）、8月3日（水）～5日（金）の6日間、県内の高校生18名がインターンシップ（一日体験）を行いました。

### 【内容】

- ・オリエンテーション
- ・館内見学
- ・POP作成
- ・カウンター業務体験（図書館利用カードの作成、貸出・返却、排架、本・雑誌・DVDの検索）

インターンシップでは、カウンター業務や、おすすめ本を紹介するPOPの作成など、様々な図書館の業務を体験していただきました。体験の感想として「貸し借りの場所だと思っていたが、イメージが変わった。」「本を棚に戻す作業で、こんな本がある！と知る楽しさがあった。」「地下書庫の本の多さにびっくりした。」「POPが楽しかった。自分が薦める本を知ってもらえる。描き方を工夫した。」「ますます司書になりたいと思った。」などが寄せられました。



▲図書館利用カード作成



▲貸出  
(自動貸出機を体験)

今回は司書になりたい生徒や、将来の選択肢の一つとして現場を見てみたいという生徒の参加が多く、質問タイムでは、司書になる方法、採用状況、収入、読書量など、様々な質問が寄せられました。

作成したPOPは1階ティーンズコーナーに展示予定です。ぜひご覧ください。



▲返却



▲排架  
(本を棚に戻す作業)



▲POPの作成



▲作成したPOP